

MrtgログでGnuplotグラフを作る（Linuxインストール）

必要なパッケージとパス

- Mrtg : CPU、Memory、Diskのログを採る
- Gnuplot : 統合グラフを作る（/usr/bin/gnuplotに存在）

plotgraph.sh,oklogmake.sh処理と表示

1. Mrtgの各Cpu,Memory,Diskログを読み取り、Unixtimeを時刻へ変換し、時刻の古い順（正順）に統合okログへ書き出す
2. Gnuplotテンプレートへ変数の値を渡す実行exeファイルを作成する
3. 実行exeファイルを実行し、svgイメージファイルを作成する
4. ブラウザでsvgイメージをアクセスし最新のグラフを表示する

ソースとデータの展開

```
visualmonitor/graphsample/linux/mypathを以下の様に展開します
/mypath/
|_ bin/
|   mkplot.plt  plotgraph.sh oklogmake.sh
|_ mrtg/  （ここにmrtgログを置く）
|   sample.com.cpu.log  sample.com.disk.log  sample.com.ram.log
|_ plot/  （ここにグラフイメージ等が作成される）
        sample.com.exe  sample.com.ok  sample.com.svg
```

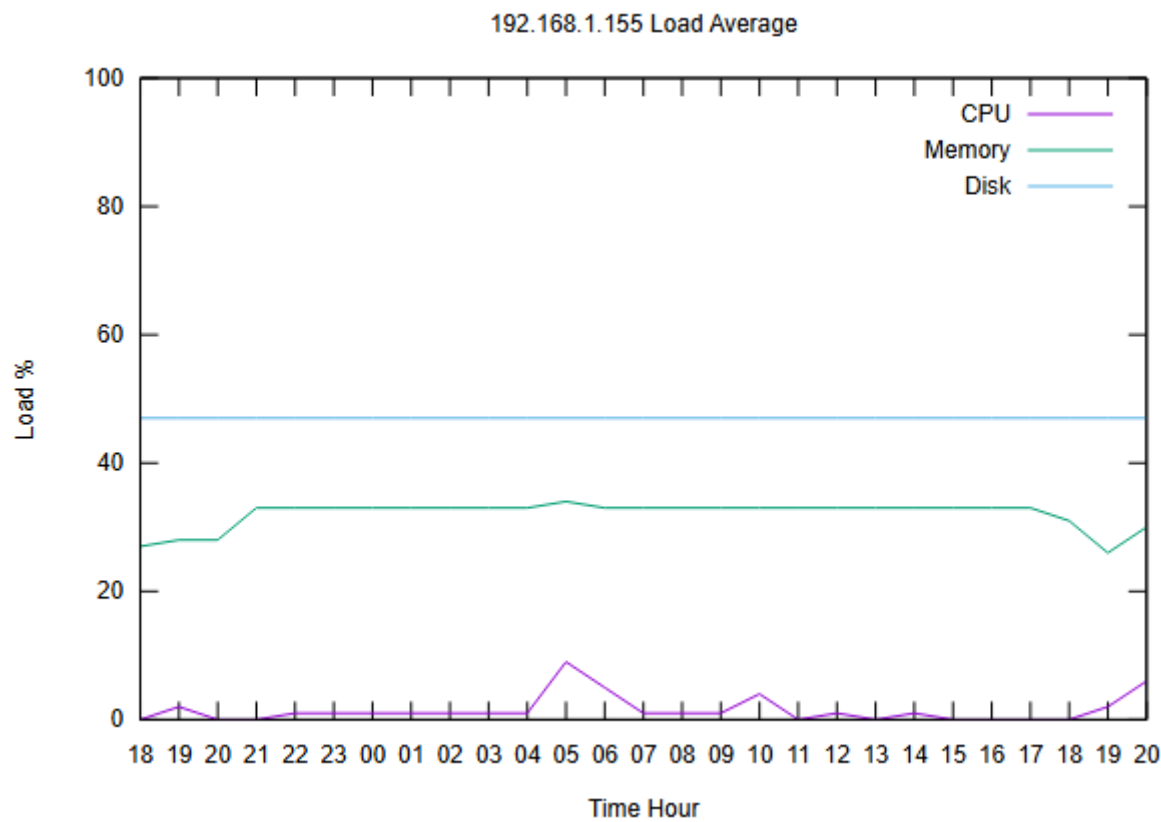
準備と実行

```
* huplot確認
$ ls /usr/bin/gnuplot
gnuplot
* デフォルトパスで実行
$ pwd
/mypath
$ chmod +x bin/*
$ bin/plotgraph.sh
sample.com.svg image created

* 任意のパスで実行
$ cd any_path/mypath
mypath$ bin/plotgraph.sh <mkplot.pltのパス> <mrtg logのパス> <gnuplotグラフのパス>
sample.com.svg image created

* 定期的に実行
$ crontab -e
0,30 * * * * /mypath/bin/plotgraph.sh ...
```

サンプル画像



その他

WindowsのSNMPマネージャでmrtgグラフを作成していたので利用することにしました。mrtgログ取得はタスクスケジューラ等で出来ますが、このグラフはサーバ監視システムの機能の一部として動作させています。興味ある方は[ここから](#)どうぞ。